



### 仕事後に交流深める 勤労者バスケットリーグ

11月6日から29日まで、第51回葛巻町勤労者バスケットボールリーグ戦が社会体育館で行われ、7チームが参加して仕事終わりに汗を流しました。

最も3ポイントシュートを決めた人に贈られる、3点シュート賞を獲得した森純麗さん（下町）は「自分が取れるとは思ってなくて驚いた。全試合に出てみんなのおかげで賞を取れた。来年も出たい」と話し、仲間とのプレーを楽しんだ様子でした。リーグ戦の結果は、役場ルートプラスが優勝しました。

和気あいあいと行われた試合の様子



### ネオホッケー交流大会 7チームが競技楽しむ

11月19日、社会体育館で第28回岩手県ネオホッケー大会が開催され、葛巻、洋野、岩泉の3町から小学生と一般混成合わせて7チームが出場し、試合を通して交流を深めました。

小学生の部で優勝した江刈A（エース）チームの日向佑実さん（江刈小6年）は「チームでポジションを決めて、シュートをたくさん打てたので勝てた。4年生からやってきて初めて優勝できて嬉しい」と喜び、試合を終えた選手たちの顔には笑顔が見られました。一般混成の部では、いろはす五日市が優勝しました。

一生懸命ボールを追いかける子どもたち

### へっちょこだんご作り 料理で地域の人と交流

12月13日、わいわい遊びのがっこうと町更生保護女性の会が主催するわいわい料理講習会が葛巻小学校で行われ、児童7人が参加しました。

児童はへっちょこだんご作りに挑戦し、地域の皆さんに教わりながら笑顔で生地をこねていました。更生保護女性の会の柴田幸栄さん（新町）は「料理をきっかけに、子どもが少しでも非行防止や明るいまちづくりについて考えてくれば嬉しい」と話し、児童と指導した皆さんはへっちょこだんごが完成すると一緒に楽しく味わい、交流を深めていました。



へっちょこだんごを丸める児童たち

### スポーツセミナー 応急処置など学ぶ

町スポーツ協会主催のKUZUMAKIコーチングスキルアップセミナーは11月23日、社会体育館で開催され、各スポーツ団体関係者や中学生合わせて11人が参加しました。

盛岡中央消防署葛巻分署員とたかだ接骨院院長の高田直樹さん（盛岡市）が講師を務め、心肺蘇生・AED講習とけがの応急処置の講習を行いました。中村花愛さん（小屋瀬）は「テーピングの巻き方の講習がとてもためになった。けががあった場合は適切に対処したい」と話し、有意義な講習になった様子でした。



テーピングを実践する高田さん（左）と参加者の皆さん

### 身近な物で応急手当 安全衛生管理講習会

くずまき高原グリーン・ツーリズム推進協議会主催の安全衛生管理講習会は12月14日、くずま〜るのまき×まきホールで開催され、会員ら9人が参加しました。

講習では盛岡中央消防署葛巻分署員を講師に、身近なものを使用した応急手当を学びました。参加者は雑誌やビニール袋、タオルなどを使った骨折や脱臼の応急手当や、毛布を使ったけが人の搬送などを実践。「もっと早く知りたかった」、「タオルを持ち歩くようにしたい」と話し、いざという時に備えていました。



ビニール袋を使った腕つりの応急処置を学ぶ参加者



土信田さん（円内）とタオルを使った運動に挑戦する子どもたち

### タオルを使って運動 幼児のたいそう教室

11月26日、町教育委員会が社会体育館でたいそう教室を開催し、幼児16人が参加しました。

講師は健康運動実践指導者の土信田有紀さん（盛岡市）。教室は2回目、今回はしゃがむ、跳ぶ、投げるなど、幼児期に身に付けたい基本の動作を、タオルを使って手軽にトレーニングできる方法を紹介。参加した子どもたちは元気いっぱいさまざまな動きに挑戦していました。土信田さんは「動きに合わせて『頭』、『足』など声を掛けると反射神経が磨かれます」と保護者にアドバイスしていました。